

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



古民家を舞台に マチソラ芸術祭

三好市の古民家を活用して、県内外の芸術家によるアート作品の展示やライブ、ワークショップなどを行うマチソラ芸術祭が、東祖谷の落合集落や池田のうだつの町並みを舞台に11月2日、3日に開催されました。旧政海旅館ではポストカードにオイルパステルで描くワークショップがあり、家族連れで楽しむ姿が見られました。また東祖谷会場の「晴耕」では絵本作家などによる展示、三所神社では約800本の竹をつるした作品が境内に展示され、古民家から眺める景色を楽しむとともに来場者は熱心に作品に見入っていました。

武者行列、勇壮に練り歩く

三好市にゆかりのある戦国武将・三好長慶にスポットをあてた「三好長慶武者行列まつり」が、11月3日、三野グラウンドで開催されました。武者行列では甲冑や陣羽織を身に着けた地元市民や県内外の長慶ゆかりの団体からの参加者らが武将や旗持ちなどに扮し、出陣式で「エイエイオー」と勝ちどぎを上げたあと会場周辺を勇壮に練り歩いたほか、備州岡山城鉄砲隊による火縄銃の演武や、三野中吹奏楽部の演奏などの催しもあり、訪れた多くの見物客を楽しませました。



富士全国同人雑誌賞 大賞は蒼空

山城町出身の小説家富士正晴氏の功績をたたえて3年に一度実施されている「富士正晴全国同人雑誌フェスティバル」が10月31日、サンリバー大歩危で開催されました。富士正晴生誕100年を迎えた今回は5回目の開催となり、全国119誌の応募の中から富士正晴同人雑誌賞の大賞に選ばれた高知市の「蒼空」、特別賞の「文芸中部」「弦」「姫路文学」の代表者に表彰状などが手渡されました。また、同人雑誌の代表者らによるシンポジウム、翌日には文芸評論家横尾和博さんの記念講演も山城公民館で行われました。

シーズン到来 井川スキー場オープン

井川スキー場腕山で11月22日、今季の営業が始まり、シーズン中の安全を願う神事やテープカットの後、県内外から訪れたスキーヤーやスノーボーダーたちは、さっそくリフトに乗り込み、ライトアップされた人工雪のコースで、思い思いのシュプールを描いていました。今季の営業は来年3月10日までの予定で、クリスマスイベントや大みそかイベントなども開催されます。今シーズンの初滑りにぜひ井川スキー場腕山に足を運んでみてはいかがでしょうか。



「井内の雨乞踊」を披露



第32回なでしこまつりが11月9日と10日、辻小学校周辺で開催され、各種作品の展示や芸能発表会、バザーなどの催しが行われました。今年、市無形民俗文化財の「井内の雨乞踊」を8年ぶりに披露しようと、地元保存会の方を中心に、地元の小学生や集落支援員・地域おこし協力隊員らが協力し、9月から練習を重ねてきました。舞台の上で、衣装を身につけ太鼓や鉦の音に合わせて雨乞踊りを披露すると、観客からは大きな拍手が送られました。

熱々の芋煮で体もほかほか



伊予川の環境を保全し、将来に残していくことを目的に秋の催しとして定着している伊予川芋たき会が、11月3日に行われました。大鍋に用意された芋煮は、地元で取れた新鮮な大根やごぼうや白菜、こんにゃくなどがふんだんに使われていて、訪れた来場者は温かい芋煮に舌鼓を打ちました。このほか会場では、大野小学校の児童による大野太鼓の披露、政友小などの環境学習の紹介やバザー、ラフティング体験なども行われ、多くの家族連れらで賑わいました。

各地区の学校支援が連携



市内全6中学校区で保護者や地域住民が、地域の学校を支援する、学校支援地域本部事業（学校支援ボランティア事業）が、市内全域で組織できたことから、「三好市学校支援地域本部運営協議会」が10月24日、三好市中央公民館で発足しました。学校・家庭・地域の力で、子どもたちを豊かに育むために、各地区の協議会との連携や、学校支援の推進に係る協議・検討・企画・事業評価を行います。



紅葉鮮やかな藤川谷で 妖怪たちと触れ合い

さわやかな秋空のもと、山城町の藤の里公園一帯で11月24日に第13回妖怪まつりが行われ、市内外から訪れた家族連れやアマチュアカメラマンなど多くの人でにぎわいました。児啼きじじいや天狗、青ぼうずなどの妖怪の着ぐるみ約20体がほら貝の音色にあわせて登場すると、泣き出す子どももいましたが、怖がりながらも近づいて一緒に記念撮影をするなど、妖怪たちとの触れ合いを楽しんでいました。妖怪による劇や妖怪バンドの演奏なども行われ、まつりは大変盛り上がりしました。



お天王はん市で 赤ちゃん土俵入り

三野町の武大神社で毎年恒例の、お天王はん市(みの商工祭)が11月24日に開催されました。天候も良く、色づいてきた大きなちょうの木の下は出店で賑わい、たくさんの方が来場しました。会場では、阿波踊りが披露されたり、赤ちゃんの土俵入りが行われ、小さな化粧回しをつけ、力士に抱えられて大声で泣き出したり、驚いた表情で両親を見つめたりする愛らしい様子に、来場者も思わず頬を緩め、写真に撮ろうとアマチュアカメラマンの方もたくさん訪れていました。

音楽と朗読で物語を紡ぐ人形浄瑠璃

三好市出身で浄瑠璃人形遣いの勘緑さんがプロデュースする、三好市人形浄瑠璃公演が11月2日に池田総合体育館で開催されました。1部では「寿二人三番叟」と「曾根崎心中」道行の古典2本、2部では勘緑さんが脚本し、徳島県出身の住友紀人さんが作曲した、音楽人形劇「新釈 姥捨山」が上演されました。住友さんらが奏でる美しい音楽と、朗読家の山下智子さんのしっとりとした語りにあわせ、勘緑さんと木偶舎の方が操る人形が情感豊かに舞い、来場者は人形浄瑠璃の世界に魅了されました。



池中男子が全区間で区間賞



第8回を迎えた三好地区防犯駅伝競走大会が、11月15日に吉野川運動公園の周回コースで開催され、男子6区、女子4区で健脚を競い合いました。三好地区の中学校から男子7チーム、女子8チームが出場したこの大会。全区間で区間賞を獲得した池田中学校男子が完全優勝を果たし、女子は三加茂中学校が接戦を制し優勝しました。また、個人の部としてオープンクラスのレースも行われ、出場者全員が歯を食いしばって寒空の中、走り抜きました。

四国の協力隊員が交流勉強会



四国で活動する地域おこし協力隊の交流勉強会が、11月12日と13日に池田総合体育館で開催され、四国4県から地域おこし協力隊員など94人が参加しました。12日には、各県の協力隊員や自治体担当者ら10人から、これまでの活動事例や今後の課題などの発表、各自自治体の事業紹介が行われました。ほかにも、講演やワークショップなどが2日間にわたり行われ、地域おこし協力隊員同士の情報交換や交流が図られました。

みんなが主役でまちづくり



池田総合体育館で11月10日、第8回三好市社会福祉大会・ふれあい広場が、「みんなが主役、いきいきと誰もが暮らせるまちづくり」をテーマに開催されました。式典では、西井川小学校の児童による福祉活動の発表や多年にわたり社会福祉の発展に功績のあった方や団体に対する表彰が行われました。また、各団体による展示やバザー、評論家の樋口恵子さんによる「元気が出る老い方」と題された記念講演も行われ、多くの来場者でにぎわいました。

願いを込めて オブジェ点灯



三好市のウインターシーズン到来を告げる風物詩「池田冬のオブジェ」のオープニングセレモニーが12月1日、池田へそっ子公園で行われ、多くの家族連れらでにぎわいました。大泉保育園児による夢来人宣言が行われた後にはへそっ子公園内のイルミネーションが一齐に点灯され、会場内は柔らかな光に包まれ、来場者はオブジェの優しい輝きに見入っていました。約10万個のイルミネーションは協賛団体の事業所など市内のいたるところで1月10日まで点灯されます。

優良従業員を表彰



三好市優良従業員表彰式が11月25日、池田総合体育館で行われました。三好市と阿波池田商工会議所、三好市商工会が主催したもので、この日は市内の12事業者21名が表彰を受けられ、11名が出席し、一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。表彰を受けた方は長年にわたって勤務され、事業所の業績発展だけでなく、三好市の産業の発展にも貢献された方々です。受賞された皆様おめでとうございました。

刻みたばこの文化を後世に



400年続いてきた葉たばこの在来種「阿波葉」を伝承し、たばこ産業で栄えた地域の歴史や文化を後世に伝えていこうと、11月23日、阿波池田たばこ資料館において、阿波葉刻み実演が行われました。この日は、カンナとぜんまい刻み機を使った、刻みたばこの加工実演が披露され、見物客らは刻みたばこの歴史や加工する機械の説明を受けながら、その様子に見入り、刻まれたたばこの葉の香りや感触を確かめていました。

マルシェで秋の町並みを散策



うだつの町並みが残る池田町本町通りで、11月23日に第9回うだつマルシェが開催されました。メイン会場の「スペースきせる」周辺の町並みに、市内外から73店舗が参加し、手作りの食品や雑貨などさまざまな商品を販売しました。また、人気のパン屋さんがそれぞれ自慢のパンを販売したり、一箱古本市、雑誌を作るワークショップなどさまざまな催しもあり、お気に入りの品を求めて町並みを散策する買い物客で大変ににぎわいました。

池田文化まつり にぎわう



11月22日から24日までの3日間、第26回池田文化まつりが三好市中央公民館ほか池田町内各地において開催されました。各会場では絵画や華道・俳句などの展示、詩吟・日舞・コーラスなどの舞台発表、体験講座やお茶席など、自分たちが作り上げた作品や日頃の練習の成果が披露されました。来場者はそれぞれの作品をじっくりと鑑賞したり、多彩な舞台発表を楽しみ、文化の秋を堪能しました。

西井川小学校で校舎の起工式



西井川小学校で11月22日、小学校改築工事の起工式が挙行政され、黒川市長、伊丹市議会副議長をはじめ関係者が集まり、工事の安全を祈願しました。新しく建設されるのは木造と一部鉄筋コンクリート造の2階建て校舎(1,820㎡)と体育館(551㎡)で、太陽光発電も設置されます。既に旧校舎は解体され、9月から仮設校舎で学校生活が送られています。新しい西井川小学校は、平成27年3月末完成の予定。校舎の完成が待ち遠しいかぎりです。